

日高の野菜・花き生育情報



新冠町・新ひだか町・浦河町・様似町・えりも町
《10月中旬～11月上旬》



令和4年10月15日発行
第4号
日高農業改良普及センター本所
Tel：0146-42-1489
Fax：0146-42-2521

【作物共通】


- ①無加温施設は、夕方以降の外気温の急激な低下に備え、夜間の保温を図りましょう。換気窓を閉めたハウス内は湿度が高まり病害が発生しやすい状態となります。曇天日でも換気窓の開閉幅を調整しながら積極的に換気を行い多湿状態の緩和に努め、機送風ファンや循環扇を活用しましょう。
- ②栽培を終えたハウスでは、翌年の病害虫の発生源となる作物残さを必ず搬出し、被覆資材を冬期間除去して翌年の発生を抑制しましょう。被覆資材を除去しない場合はハウス内を除草し、病害虫の寄生を防ぎましょう。
- ③土壌診断に基づいた土壌改良資材の施用、心土破碎等による土壌物理性の改善等の総合的な土壌管理を進めましょう。
- ④大雨や強風が予想される時は、防風網の点検、バンドの締め直し、支柱や筋交いの補強、ハウス周辺の排水溝を掘り下げるなど防災環境を整えましょう。

【野菜】

作物名	生育状況・管理のポイント	病害虫・生理障害等
ピーマン 無加温半促成 品種：みおぎ	<ul style="list-style-type: none">・生育は概ね順調ですが、寡照多雨の影響により、花落ちが見られます。・作業は収穫作業が行われています。・夜温が下がってきているため、ハウス側窓の開閉は適切に行いましょう。・栽培終了時の片付けをする際は、根の状況を確認できる唯一の機会です。特に草丈が低いような株ではネコブセンチュウ類による被害などがいないか確認しましょう。  <p>写真 ピーマンの根のコブ</p>	<ul style="list-style-type: none">・ハダニ類、チョウ目幼虫、灰色かび病、がく枯れなどの発生が見られます。斑点病も確認されているため、罹病葉をほ場に残さないように搬出しましょう。  <p>【斑点病による落葉】</p>

<p>ミニトマト 7月定植 品種：キャロル10</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生育は概ね順調で、主枝第5段目の果実が着色中です。 • 作業は、摘花、摘葉が行われており、主枝第4果房の収穫中です。 • 夜温の低下により、内張カーテンの使用する時期になりました。湿度が高くなると、裂果や病害の発生が懸念されますので、温度や湿度の管理に留意しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一部で灰色かび病、斑点病の発生が確認されています。莖葉や残さの搬出に努めましょう。  <p>【斑点病】</p>
<p>いちご 夏秋どり (高設栽培) 品種：すずあかね</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生育は概ね順調ですが、寡照の影響を受け、全体的に小玉傾向です。 • 作業は収穫、摘葉、病害虫防除などが行われています。 • 夜温の下がる時期です。ハウス内温度は10℃、地温は12℃を下回らないようにつとめましょう。 • 夕方は早めにハウスを閉め、状況によっては内張りカーテンの展開や、加温も検討しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 灰色かび病が散見されます。 • 一部ほ場では、うどんこ病や、ハダニ類が見られます。 • 不受精果が見られます。  <p>【不受精果】</p>

【花 き】

作物名	生育状況・管理のポイント	病害虫・生理障害等
<p>デルフィニウム ハウス作型</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生育は概ね順調です。 • 作業は順次、定植～採花が行われています。 • ほ場の排水不良は生育不良を助長します。本年の多雨後にハウス内に浸水があった場合は、明きよの掘り直しなど排水対策を検討しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • ハダニ類の発生が見られます  <p>【葉裏に寄生したハダニ類】</p>

★農薬を使用する場合は、必ず使用基準を守りましょう★